

魅力あふれる公園づくり構想



魅力あふれる公園づくり構想

目 次

1	魅力あふれる公園づくり構想	
1)	構想づくりの背景と目的	1
2)	構想の策定体制	2
3)	構想策定の流れ	3
4)	魅力あふれる公園づくり構想策定委員会	4
5)	公園利用者アンケート	5
6)	市民公園づくり会議とは	6
7)	出張アンケート	7
2	洲原公園の概要と将来構想	
1)	公園の特色	8
2)	公園の良いところ・惜しいところ	9
3)	将来構想図	10
4)	利活用イメージ	11
3	岩ヶ池公園の概要と将来構想	
1)	公園の特色	16
2)	公園の良いところ・惜しいところ	17
3)	将来構想図	18
4)	利活用イメージ	19
4	刈谷市総合運動公園の概要と将来構想	
1)	公園の特色	25
2)	公園の良いところ・惜しいところ	26
3)	将来構想図	27
4)	利活用イメージ	28
5	亀城公園の概要と将来構想	
1)	公園の特色	33
2)	公園の良いところ・惜しいところ	34
3)	将来構想図	35
4)	利活用イメージ	36
6	フローラルガーデンよさみの概要と将来構想	
1)	公園の特色	39
2)	公園の良いところ・惜しいところ	40
3)	将来構想図	41
4)	利活用イメージ	42

1 魅力あふれる公園づくり構想

1) 構想づくりの背景と目的

公園には、レクリエーションや地域コミュニティの場、防災、景観形成などの役割があるとともに、とりわけ山林などのまとまった緑が少ない本市にとって公園は、自然に親しむことができる身近な憩いの場として、重要な役割を果たしてきました。

また、近年では高齢化の進展により、公園は子どもから高齢者まで幅広い世代に渡って利用されており、従来の子どもの遊び場としての利用だけでなく、健康づくりの場としても活用されるようになりました。

これに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響などに伴い、テレワークや会議のオンライン化などの新たな働き方の定着により、自宅付近で過ごす時間が増え、身近な生活圏において充実した余暇や休息時間を過ごす場所が求められるなど、公園の担う役割は多様化し、更なる機能の充実や魅力の向上が求められています。

そこで、地域の魅力向上や緑豊かな潤いのあるまちづくりに向けて、本市の公園のうち、魅力を発信することができ、周辺の状況から公園区域の拡張が可能な、洲原公園、岩ヶ池公園、総合運動公園、亀城公園、フローラルガーデンよさみの5つの公園を対象に、それぞれの公園が持つ特徴をいかしつつ、誰もが行きたくくなるような魅力あふれる公園とするため、市民の方々からのご意見を取りまとめた将来構想を策定しました。

なお、本構想は、完了までの目標年次は設けないこととし、それぞれの公園の将来像を、全体のテーマとエリアごとの利活用のイメージを構想図などで示し、今後、整備を進める際の目指すべき姿とするものです。

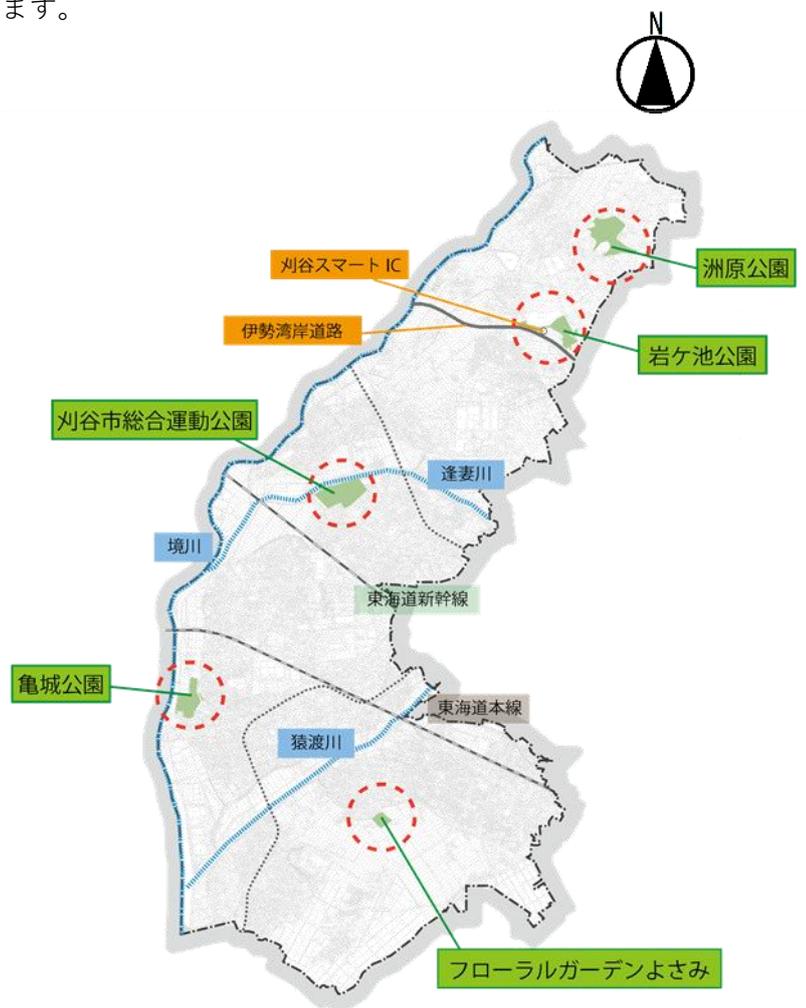


図 対象となる5つの公園

2) 構想の策定体制

まちづくりを視点に、構想の策定に向けた全体的な取組みについて、様々な立場・観点から助言をすることを目的として、学識経験者や各種団体、事業者の代表、関係機関の行政職員等で構成する『魅力あふれる公園づくり構想策定委員会』を設置しました。

また、5公園の「取り組むべき施策・事業アイデア」を具体的に提案し、将来構想の素案を策定することを目的として、地域住民や福祉団体、子育て団体、中学生、大学生、一般公募などで構成する『市民公園づくり会議』（ワークショップ）を設置しました。

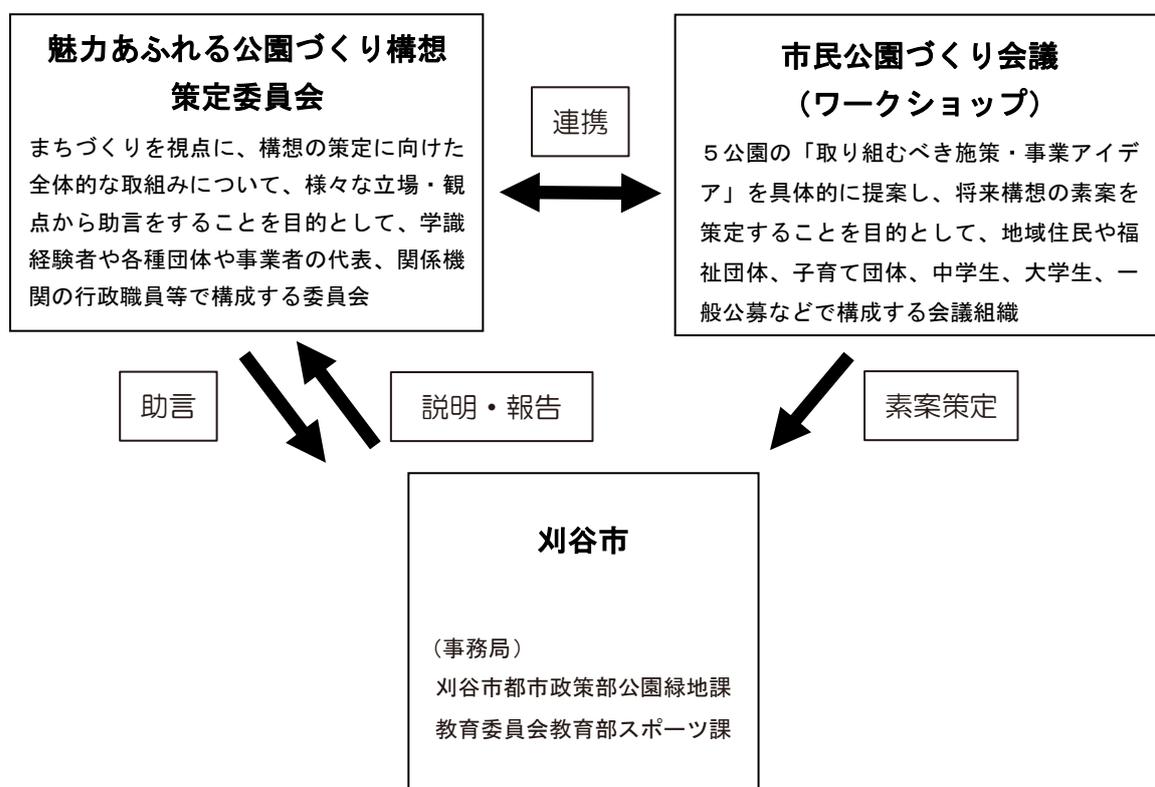


図 構想の策定体制

3) 構想策定の流れ

本構想の策定は、以下の流れで実施しました。

表 構想策定の流れ

		市民意見の聴取		各種会議等
		ワークショップ	その他の手法	
2021年度	8月			策定委員会（第1回）8/20
	9月			※構想策定の進め方について
	10月			
	11月	市民公園づくり会議	利用者アンケート 11/12,13	策定委員会（第2回）11/19
	12月	（第1回）12/18	※公園の利用実態把握	※市民公園づくり会議の実施方法について
	1月	※公園とともにあるライフスタイルを考える		
2022年度	2月			
	3月	（第2回）3/26		
	4月	※公園の「良いところ」「惜しいところ」		
	5月	（第3回）4/23		
	6月	※公園でできたらいいと思う「もの」「こと」		
	7月	（第4回）6/25		
	8月	※公園の将来ビジョンを描こう		
	9月	（第5回）8/6		策定委員傍聴
	10月	※公園の将来ビジョンを発表	出張アンケート 9/2,4,9,10 ※公園利用者の意見聴取	
	11月	○構想(素案)作成		
	12月	（第6回）10/8		策定委員会（第3回）11/1
	1月	※構想案のとりまとめ		※市民公園づくり会議の結果について
	2月		パブリックコメント 12/1~1/4	構想（案）作成
	3月			策定委員会（第4回）1/27
			※パブリックコメントの結果について	
			構想とりまとめ	
			構想の公表	

4) 魅力あふれる公園づくり構想策定委員会

魅力あふれる公園づくり構想策定委員会は、学識経験者や各種団体、事業者の代表、関係機関の行政職員等の14名で構成され、まちづくりを視点に、構想の策定に向けた全体的な取組みについて、様々な立場・観点から助言をいただくことを目的とした会議です。

回数	日程	テーマ
第1回	2021年8月20日(金)	(1) 魅力あふれる公園づくり事業について (2) 市民の意見聴取方法や今後の進め方について (3) 5公園の特色と目指すべき公園像について
第2回	2021年11月19日(金)	(1) 市民公園づくり会議の実施概要について (2) 市民公園づくり会議の構成委員について (3) 公園利用者アンケートについて
第3回	2022年11月1日(火)	(1) 市民公園づくり会議の報告について (2) 今後の取組みについて
第4回	2023年1月27日(金)	(1) パブリックコメントにおける主な意見と市の考え方について



写真 魅力あふれる公園づくり構想策定委員会の様子

5) 公園利用者アンケート

(1) 調査目的

公園利用者の公園に対する意識等を幅広く把握し、「魅力あふれる公園づくり構想」の策定のための資料とすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

(2) アンケート調査実施概要

調査日	【平日】 2021年11月12日(金)	【休日】 2021年11月13日(土)
調査時間	《午前》9:00~12:00 《午後》12:00~16:00	《午前》9:00~12:00 《午後》12:00~16:00
天候	晴れ	晴れ

(3) 調査票の回収状況

5公園のアンケート調査票の回収状況は以下の通りとなります。

【平日 2021年11月12日(金) 休日 2021年11月13日(土)】

No.	公園名	アンケート調査票回収数					
		平日			休日		
		屋外	屋内	合計	屋外	屋内	合計
1	洲原公園	109	29	138	122	24	146
2	岩ヶ池公園	287	—	287	340	—	340
3	刈谷市総合運動公園	132	102	234	131	91	222
4	亀城公園	65	13	78	82	34	116
5	フローラルガーデンよさみ	84	39	123	95	48	143
合計		677	183	860	770	197	967



写真 当日の利用状況

6) 市民公園づくり会議とは

市民公園づくり会議(ワークショップ)は、魅力あふれる公園づくり構想の策定に向けて、地域住民や福祉団体、子育て団体、中学生、大学生、一般公募など合計72名の方が参加し、「取り組むべき施策・事業アイデア」を具体的に提案することを目的とした会議です。本市を北部、中部、南部の3区域に分割し、全6回にわたって開催をしました。

表 市民公園づくり会議のスケジュール

回数	日程	テーマ
第1回	2021年12月8日(土)	PARK × LIFE ～公園とともにあるライフスタイルを考える～
第2回	2022年3月26日(土)	公園の“今”を考える ～公園の「良いところ」と「惜しいところ」～ ・公園利用者アンケート結果報告
第3回	2022年4月23日(土)	公園の“未来”を考える ～公園でできたら良いと思う「もの・こと」～
第4回	2022年6月25日(土)	公園の“未来”をカタチに ～公園の将来ビジョンを描こう～
第5回	2022年8月6日(土)	PARK×Vision (発表会) ～5つの公園の将来ビジョンを発表する～
第6回	2022年10月8日(土)	PARK×Concept ～5つの公園の構想(案)のとりまとめ～ ・出張アンケートの結果報告



写真 市民公園づくり会議の参加者のみなさん

7) 出張アンケート

(1) 調査目的

ワークショップの成果である「公園の構想素案」に対して、子育て世代や働き世代など、実際に公園を利用している意見を聴取するため、各公園に出向いて、出張アンケートを実施しました。

(2) アンケート調査実施概要

調査日	【平日】		【休日】	
	2022年 9月2日(金)	2022年 9月9日(金)	2022年 9月4日(日)	2022年 9月10日(土)
調査時間	13:00~16:00		10:00~13:00	
天気	曇り	晴れ	晴れ	晴れ
対象公園	・刈谷市総合運動公園 ・亀城公園 ・フローラルガーデンよさみ	・洲原公園 ・岩ヶ池公園	・刈谷市総合運動公園 ・亀城公園 ・フローラルガーデンよさみ	・洲原公園 ・岩ヶ池公園

(3) 調査票の回収状況

5公園のアンケート調査票の回収状況は以下の通りとなります。

No.	公園名(箇所)	アンケート調査票回収数	
		平日	休日
1	洲原公園(2箇所)	36	59
2	岩ヶ池公園(1箇所)	79	104
3	刈谷市総合運動公園(2箇所)	50	49
4	亀城公園(1箇所)	21	40
5	フローラルガーデンよさみ(1箇所)	38	84
合計		224	336



写真 当日の利用状況

2 洲原公園の概要と将来構想

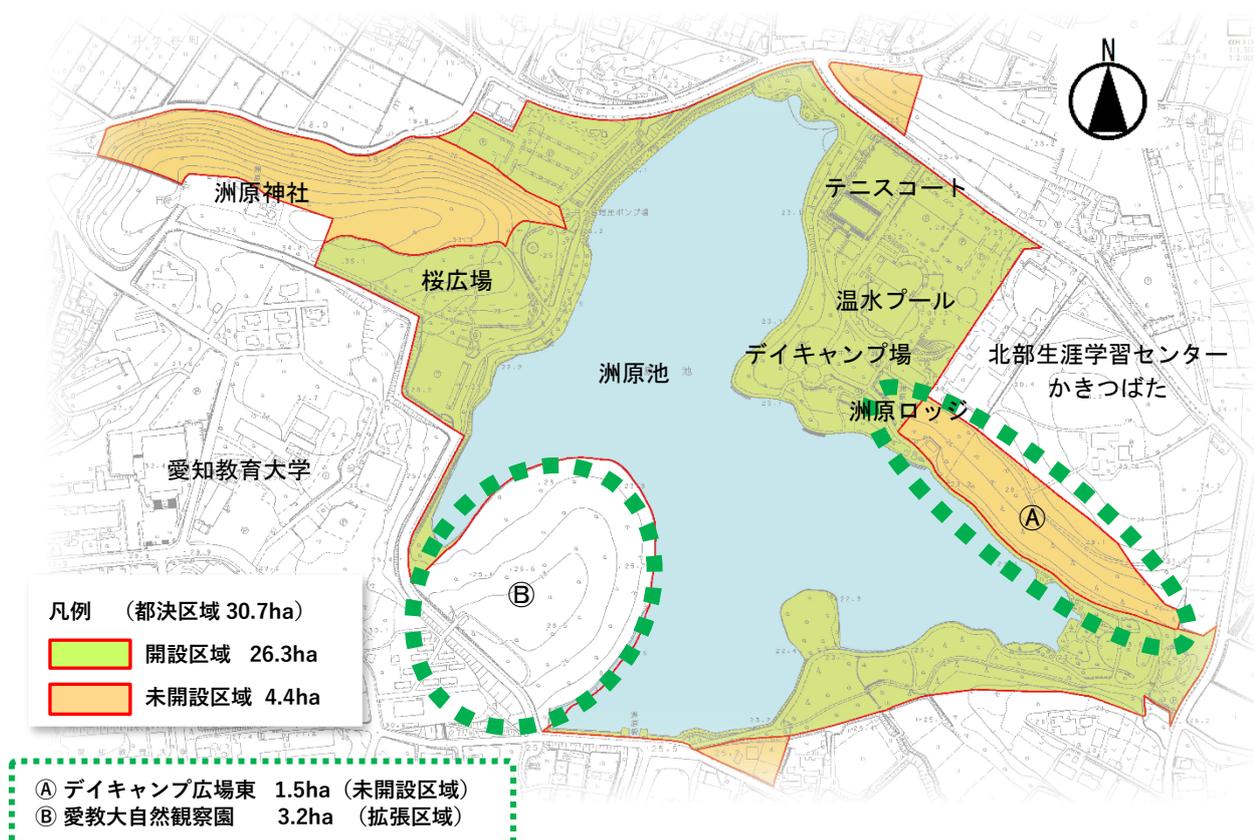
1) 公園の特色

洲原公園は、洲原池を中心として、周囲に広がる松林を背景にした風光明媚な丘陵地にある総合公園です。

公園内には、芝生広場のほか約 420 本のソメイヨシノが植えられ、亀城公園と並んで桜の名所として知られ、4 月には桜まつりが開催され多くの市民で賑わっています。また、市民の余暇活用に対応するため、平成 2 年に温水プール、テニスコートを、平成 9 年にはデイキャンプ広場・ファイヤー広場が完成し広く利用されています。さらに、公園近くには、国の天然記念物の指定を受けたカキツバタ群落で有名な小堤西池があり、5 月の開花時には市内はもとより市外からの観賞者で賑わっています。



洲原公園（開設年度：昭和 44 年）



2) 公園の良いところ・惜しいところ

第2回市民公園づくり会議では、洲原公園の良いところ・惜しいところについて、グループで意見を出し合いました。



公園の良いところ

◆主な意見

●自然

- ・池や森があり、自然が豊か
- ・野鳥観察ができる
- ・桜がきれい など



●施設

- ・家族や友人と一緒にデイキャンプが楽しめる
- ・プール、テニスコート、洲原ロッジなどさまざまな施設がある など



●その他

- ・自然を楽しみながらウォーキングができる
- ・子どもの遊具や、高齢者もできる健康器具など世代の幅が広い
- ・駐車場が広く、使いやすい、アクセスが良い など



公園の惜しいところ

◆主な意見

●施設

- ・雨の時に遊ぶことができない
- ・広場がいかされていない
- ・売店が充実されていない
- ・園路がデコボコ
- ・外灯がない
- ・花見のシーズンは 駐車場が混み合う
- ・遊具広場とデイキャンプ場が離れている
- ・ベンチが少ない など

●その他

- ・ハイウェイオアシス(岩ヶ池公園)とのつながりが無い
- ・屋外コンサート場があると良い
- ・20~40代が見られない など

●池

- ・池を迂回する道が長い
- ・池に橋が欲しい
- ・池を楽しむことが少ない など



3) 将来構想図



洲原公園 将来構想

公園の将来像

自然とともに遊んで学べる！SUHARA アウトドア・パーク

公園の未来

- 1) 自然の中で遊びを創造し、人とつながり心と体の成長が促されます。
- 2) 豊かな自然に囲まれてゆったり向き合える時間を過ごせます。
- 3) 大学や地域とのコラボにより、楽しみながら学べる機会が得られます。



4) 利活用イメージ

桜広場・エリア

四季の花や桜の充実を図り、広場で季節ごとのイベントが楽しめるエリアです。



【利活用イメージ】

- 四季の花や桜を楽しむ家族で一年を通して賑わっています。
- 丘陵地をいかした遊具や広場で家族などだれもが一緒に遊んでいます。
- 大学と地域の方が一緒になってイベントを開催しています。
- 夜ならではの公園を楽しめるナイトパークが開催されています。
- 神社を囲む豊かな緑は、鎮守の森として、訪れる人の心身を癒しています。



(イメージ)

キャンプフィールド・エリア

洲原ロッジのリニューアルやキャンプ場の機能を拡充し、体験農園や地元食材も楽しめるエリアです。



【利活用イメージ】

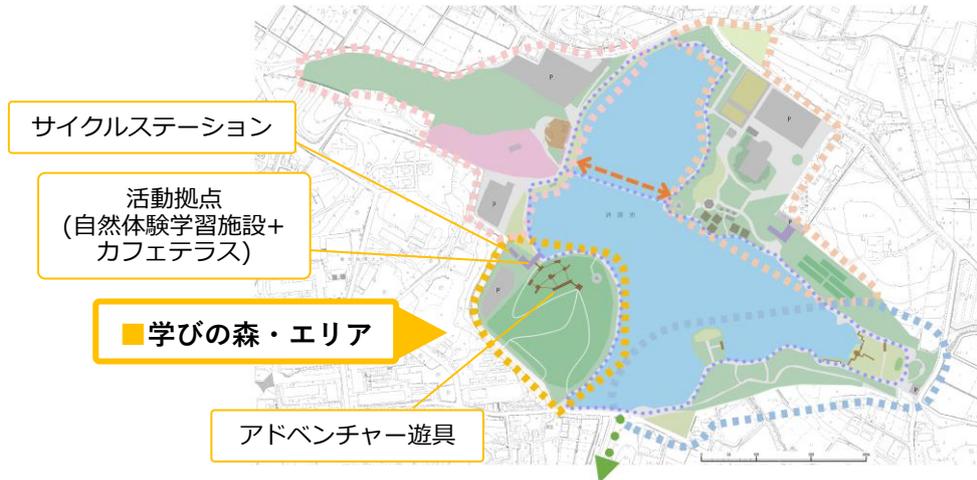
- 高齢者をはじめ、みんな一緒にロッジやテントに泊まって、一日中自然に囲まれた時間を過ごしています。
- 既存の施設で講座やスポーツ教室が開催され、子どもから大人までだれもが一緒に楽しんでいます。
- 昆虫採集や天体観測など自然をいかした体験や公園で集めた材料を使った工作などを行っています。
- 体験農園で収穫したもぎたてで新鮮なフルーツや野菜をバーベキューで賞味したり、ジャムづくりの加工体験などを楽しんでいます。



(イメージ)

学びの森・エリア

水辺に活動拠点を配置し、豊かな自然をいかした楽しみながら学べるエリアです。



【利活用イメージ】

- 大学生と子どもたちが木の実や葉などを使って遊びながら、お互いに学んでいます。
- カフェテラスでは、公園内で加工した物を販売したり、公園利用者や大学生などが、水辺の景色を楽しみながらくつろいでいます。
- 自然体験学習施設では、昆虫採集や野鳥観察などのフィールドワークが開かれており、自然をいかした遊具や遊びを通して、子どもたちの好奇心を育てています。



(イメージ)

水辺の森・エリア

豊かな自然を活用し、のんびりと過ごすことができるエリアです。



【利活用イメージ】

○森や水辺を散策しながら、豊かな自然を満喫しています。

○静かな水辺では野鳥や水生植物を観察したり、ベンチでくつろぎながら、のんびりと過ごしています。



(イメージ)

池の周遊コース

多くの市民が一年を通して利用する、池を周遊するコースです。

【利活用イメージ】

- ウォーキングやジョギングなど、多くの市民がそれぞれの楽しみ方で池を周遊しています。
- コース沿いの健康遊具で体を動かして、健康づくりに励んでいます。

池（水面）の活用

洲原池の魅力的な水面を活用します。

【利活用イメージ】

- カヌー体験やボートで遊んでいます。
- 池を横断するジップラインで、上空から池や森の美しい風景を見ながら楽しんでいます。

池の東西をつなぐ

2つのエリアをつなぐ動線です。

【利活用イメージ】

- 小さな子ども車いすの人も一緒になって、水上からの眺めを楽しんでいます。
- BBQの合間には対岸に渡り、広場や遊具で遊んでいます。



(イメージ) 七本木池公園【愛知県半田市】

岩ヶ池公園との連携

岩ヶ池公園とは連携を図り、緑道でつながっています。

【利活用イメージ】

- 岩ヶ池公園までつながる緑道で散歩をして楽しんでいます。
- サイクルステーションで自転車を借りて、サイクリングを楽しんでいます。

3 岩ヶ池公園の概要と将来構想

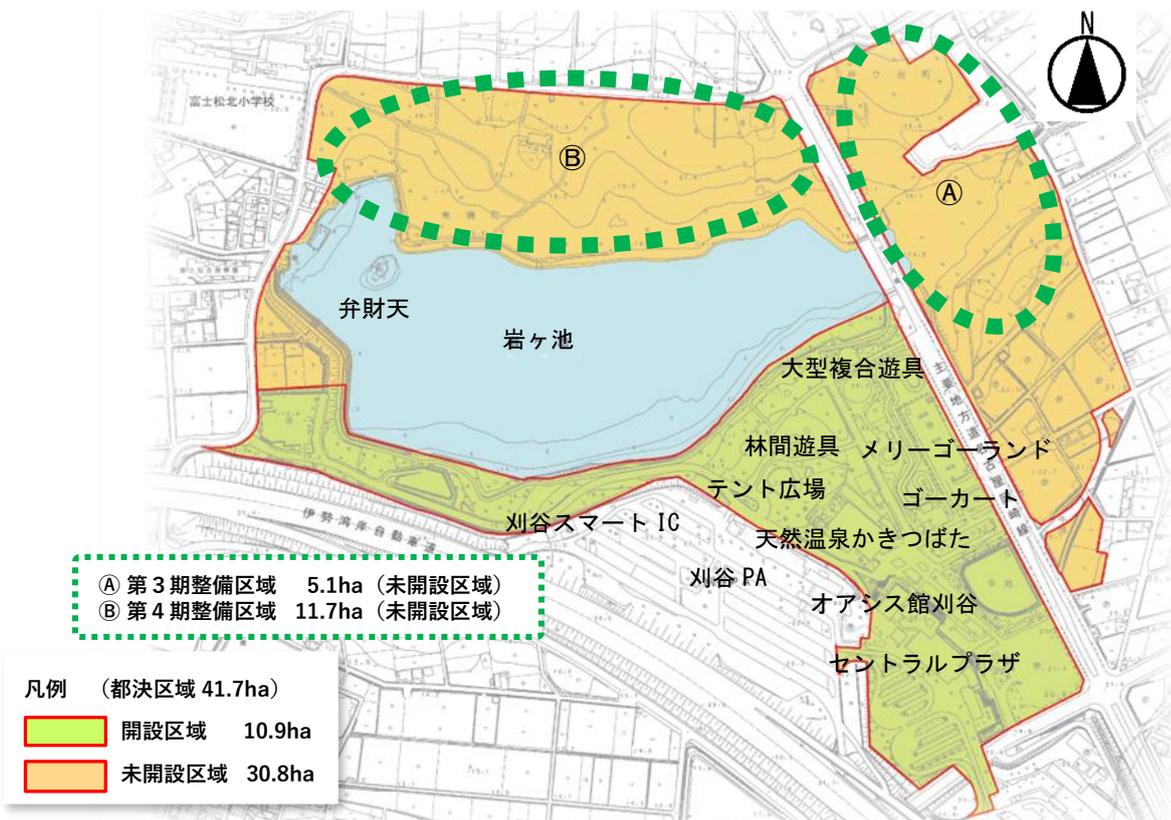
1) 公園の特色

岩ヶ池公園は、伊勢湾岸自動車道・刈谷PAに隣接する岩ヶ池周辺の豊かな自然をいかした総合公園です。レストランやショップなど、民間企業の参画を得て、より多くの人々に利用していただける魅力的な空間づくりをめざし、平成16年12月にセントラルプラザ等をオープンし、平成20年4月には、お子さんにも楽しんでいただけるよう大型複合遊具・ゴーカート等を整備しました。また、令和4年3月には、刈谷スマートインターチェンジが開通しました。

これら公園施設の充実を図ることにより、公園を利用する地域の人々と高速道路を利用する全国の人々との交流が広がる拠点として、さまざまな出会いを創出しています。



岩ヶ池公園（開設年度：平成16年）



2) 公園の良いところ・惜しいところ

第2回市民公園づくり会議では、岩ヶ池公園の良いところ・惜しいところについて、グループで意見を出し合いました。

公園の良いところ

◆主な意見

- 自然
 - ・池や森があり、自然が豊か
 - ・野鳥観察ができる
 - ・花がきれい など
- 施設
 - ・テント広場がある
 - ・低料金で乗り物に乗れる
 - ・遊具が豊富
 - ・食事・入浴ができる
 - ・トイレが多くきれい など
- その他
 - ・アクセスが良い
 - ・刈谷市のPRができています
 - ・駐車場が広く、使いやすい など
 - ・施設が充実している

公園の惜しいところ

◆主な意見

- 施設
 - ・周遊できる散策路がない
 - ・雨の日に遊べる遊具がない
 - ・子どもが工夫、冒険できる場所がない
 - ・エレベーターが1基しかない
 - ・運動できる広場が少ない
 - ・大学生が遊べる場所がない
 - ・ベンチ、日よけがほしい
- その他
 - ・ゴミが多く維持管理ができていない
 - ・地域の人が気軽に行ける公園でない
 - ・車の渋滞、駐車場が混雑 など

大学生が遊べる場所がない

周遊できない

雨の日に遊べる遊具がない

子どもが工夫、冒険できる場所がない

3) 将来構想図



岩ヶ池公園 将来構想

公園の将来像

自然の中でPLAY&STAY〔遊ぶ・泊まる・体験する〕

公園の未来

- 1) 刈谷市の『食・遊・泊』の拠点として、全国からの来訪者をもてなします。
- 2) 岩ヶ池周辺の自然環境を守りながら、自然の中で遊びと学びを体験しています。
- 3) 民間との連携を強化し、にぎわいと交流の絶えない公園づくりをしています。

■ 森の中のステイ・エリア

宿泊施設を配置し、自然の中でくつろぎ、ゆっくり滞在できるエリアです。

【イメージ】グランピング／ワーケーション など

■ 森と水の冒険・エリア

森をいかしたアクティブな遊具を配置し、幅広い世代と一緒に遊ぶことができるエリアです。

【イメージ】アドベンチャー遊具／木登り／ジップライン／サイクルステーション／北エントランス（洲原公園へ） など

■ 地域の森・エリア

岩ヶ池と周辺の自然環境を『地域の森』として、市民参加の森づくりをするエリアです。

【イメージ】森の学校／地域の遊び場 など

● 池の周遊コース（●●●●）

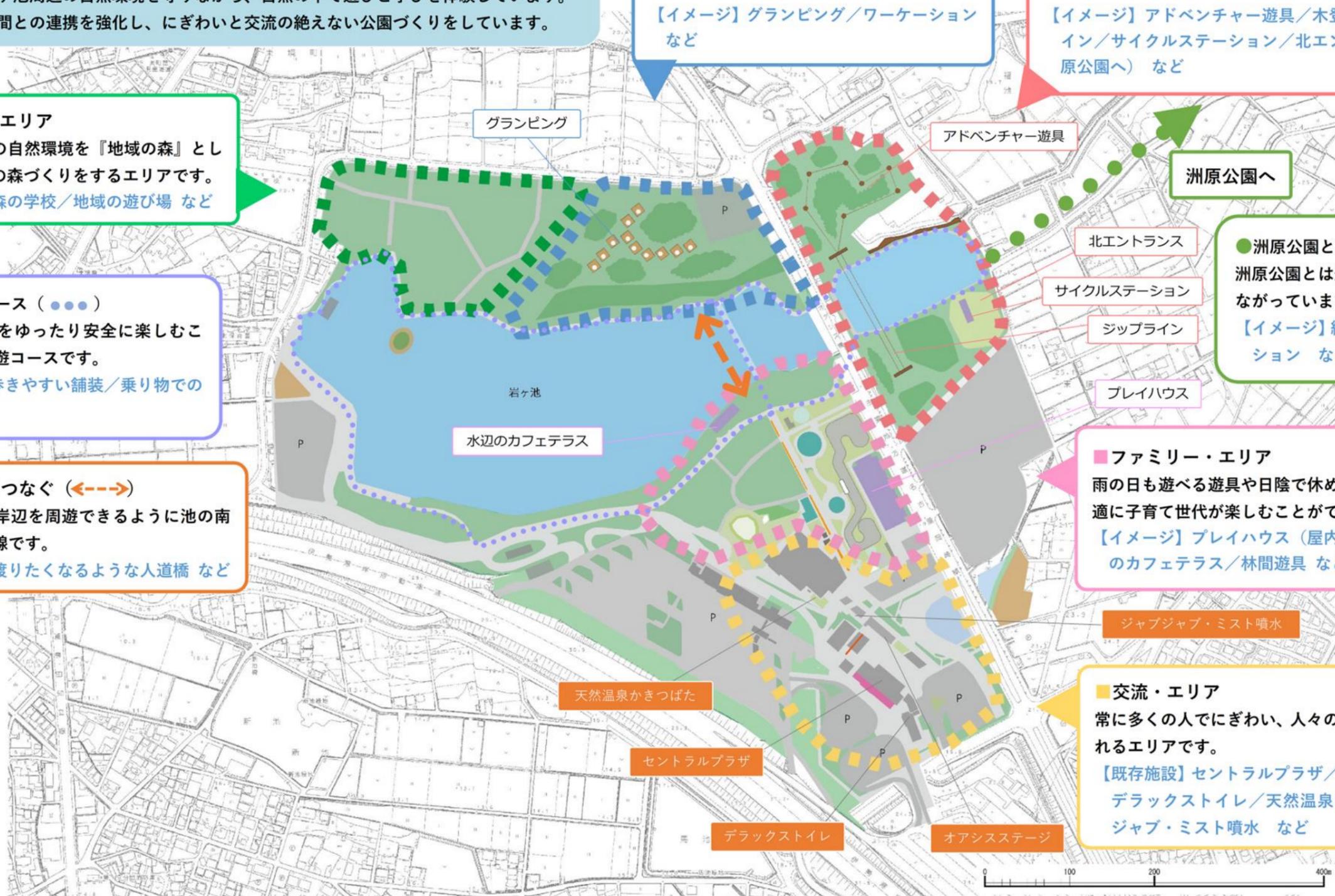
岩ヶ池の景色をゆったり安全に楽しむことができる周遊コースです。

【イメージ】歩きやすい舗装／乗り物での周遊 など

● 池の南北をつなぐ（←→）

だれもが池の岸辺を周遊できるように池の南北をつなぐ動線です。

【イメージ】渡りたくなるような人道橋 など



● 洲原公園との連携

洲原公園とは連携を図り、緑道でつながっています。

【イメージ】緑道／サイクルステーション など

■ ファミリー・エリア

雨の日も遊べる遊具や日陰で休める施設を配置し、快適に子育て世代が楽しむことができるエリアです。

【イメージ】プレイハウス（屋内型遊具施設）／水辺のカフェテラス／林間遊具 など

■ 交流・エリア

常に多くの人でにぎわい、人々の出会いと交流が生まれるエリアです。

【既存施設】セントラルプラザ／オアシスステージ／デラックストイレ／天然温泉かきつばた／ジャブジャブ・ミスト噴水 など

4) 利活用イメージ

地域の森・エリア

岩ヶ池と周辺の自然環境を『地域の森』として、市民参加の森づくりをするエリアです。

■地域の森・エリア



【利活用イメージ】

- 環境学習や自然体験、森づくりの活動を通じて、子どもたちが生きいきと活動しています。
- 岩ヶ池の自然環境と風景を公園の大切な資源として残しながら、地域住民や事業者が一緒になって、森づくりの活動をしています。
- 地域の憩いの場（森の家）、遊び場（プレーパーク）として、多世代の交流が生まれています。



(イメージ)

森の中のステイ・エリア

宿泊施設を配置し、自然の中でくつろぎ、ゆっくり滞在できるエリアです。



【利活用イメージ】

- 手軽にラグジュアリーなキャンプをすることで、豊かでゆったりとした時間を過ごしています。
- 自然の中で休暇と併せ、リフレッシュしながら仕事をしています。
- 市外から刈谷を訪れた人が、この宿泊施設を拠点として、刈谷の市内観光を楽しんでいます。



(イメージ)

森と水の冒険・エリア

森をいかしたアクティブな遊具を配置し、幅広い世代と一緒に遊ぶことができるエリアです。



【利活用イメージ】

- 中高生や大学生が、自然をいかしたジップラインやツリークライミングなどで、アクティブに遊んでいます。
- 小さな子どもも家族と一緒に遊んで体験できるアドベンチャー遊具で楽しんでいます。
- 自転車を借りて、岩ヶ池の周遊コースと洲原公園までサイクリングを楽しんでいます。



(イメージ)

ファミリー・エリア

雨の日も遊べる遊具や日陰で休める施設を配置し、快適に子育て世代が楽しむことができるエリアです。



【利活用イメージ】

- 小さな子どもをはじめ、みんなと一緒に屋内外にある魅力的な遊具で遊んでいます。
- 池を眺めながらゆっくり過ごすことができる水辺のカフェテラスは、若者たちのデートスポットとなっています。
- 水辺の園路では、水・緑・花の織りなす景色を見て安らいでいます。



(イメージ)

交流・エリア

常に多くの人でにぎわい、人々の出会いと交流が生まれるエリアです。



【利活用イメージ】

- セントラルプラザや天然温泉かきつばたは、民間企業と連携を図り、質の高いサービスを提供し、常に市内外からの多くの人で賑わっています。
- 多くの子どもたちが、楽しそうに水遊びをしています。
- オアシスステージでは、地域の人たちが参加するダンス、音楽などの発表会や有名なアーティストも出演するコンサートなどいつも楽しいイベントが開催されています。
- 地域の学生と連携し、地域を超えて、より多くの人と交流をしています。

池の周遊コース

岩ヶ池の景色をゆったり安全に楽しむことができる周遊コースです。

【利活用イメージ】

- ウォーキングやジョギング、散歩など、多くの市民が各々の楽しみ方で池を周遊しています。
- 楽しく移動できる乗り物や次世代の乗り物などで周遊しています。

池の南北をつなぐ

だれもが池の岸辺を周遊できるように池の南北をつなぐ動線です。

【利活用イメージ】

- 小さな子も車いすの人も一緒になって、水上からの眺めを楽しんでいます。
- 池の対岸のエリアと行き来しながら、一日中楽しんでいます。

洲原公園との連携

洲原公園とは連携を図り、緑道でつながっています。

【利活用イメージ】

- 洲原公園までつながる緑道で散歩をして楽しんでいます。
- サイクルステーションで自転車を借りて、サイクリングを楽しんでいます。

4 刈谷市総合運動公園の概要と将来構想

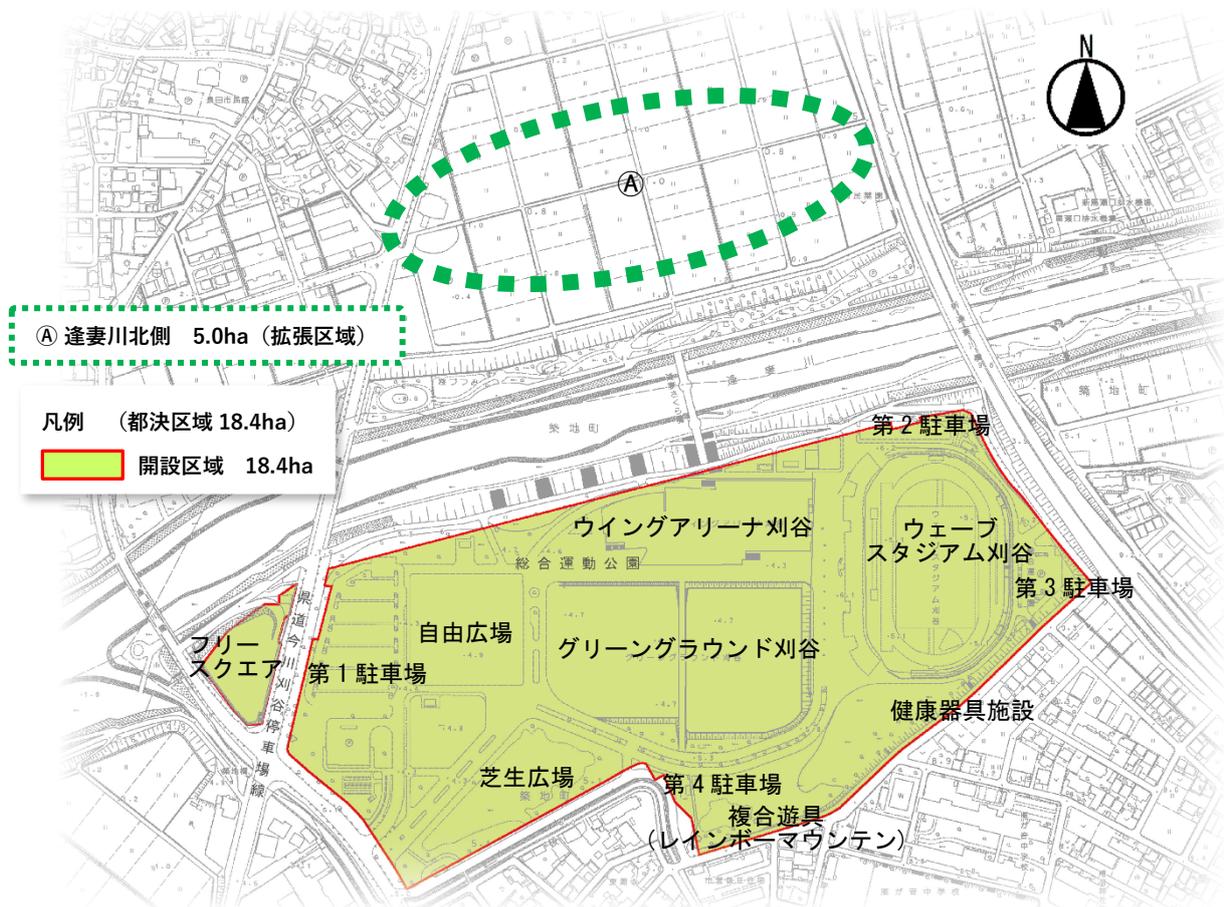
1) 公園の特色

刈谷市総合運動公園は、JR刈谷駅から北へ約3kmの築地町に位置し、国道23号知立バイパス等に接する大変交通の便の良いところであり、平成6年に開催された第49回国民体育大会の「少年男子サッカー」のメイン会場として、多くの友情と感動のドラマが展開されました。

樹木に囲まれた広い芝生広場では、大型複合遊具（レインボーマウンテン）も整備され、親子連れのなごやかな光景も多く見られます。また、隣接する逢妻川緑地、桜つつみも一体的に整備がされており、四季を通じ、市民の健康増進と憩いの場として親しまれています。



刈谷市総合運動公園（開設年度：平成6年）



2) 公園の良いところ・惜しいところ

第2回市民公園づくり会議では、刈谷市総合運動公園の良いところ・惜しいところについて、グループで意見を出し合いました。



公園の良いところ

◆主な意見

●自然

- ・逢妻川と隣接しており、桜やツツジの花が咲く
- ・自然が楽しめる など

●施設

- ・スポーツ施設が充実
- ・サッカーを見学できる
- ・アスリートと同じ場所が利用できる
- ・会議室が充実 など

●その他

- ・ウォーキング、ランニング多目的エリア世代別コースがある
- ・アスレチック広場があり子どもの遊具が充実
- ・駐車場が広くアクセス良い、公共バスで行ける
- ・イベントが多く、花火大会もある など



公園の惜しいところ

◆主な意見

●施設

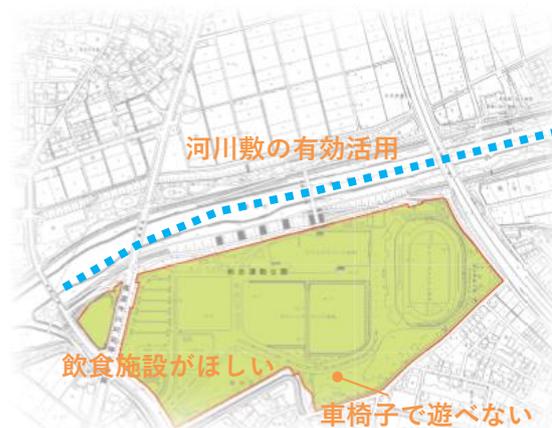
- ・気軽にスポーツができない
- ・日よけ雨除け等の屋根がない
- ・レストラン・売店がほしい
- ・トイレが和式
- ・遊具のそばにベンチがない
- ・水を使った遊び場がない
- ・室内で子供が遊べるところがない
- ・通路の照明が暗い箇所がある
- ・車椅子で遊べる遊具がない など

●その他

- ・年配の方がくつろげる場所がない
- ・イベントによっては大渋滞がおこる など

●池

- ・河川と一体化した公園づくり
- ・河川敷の有効活用 など



3) 将来構想図

刈谷市総合運動公園 将来構想



公園の将来像

だれでも・いつでも・どこでも・いつまでも Sports in Life

公園の未来

- 1) 多様な人が、いつでも手軽に体を動かせる公園機能が充実しています。
- 2) 逢妻川緑地ではレクリエーション活動が楽しめ、公園北側ではニュースポーツなどが体験できます。
- 3) 民間との連携により、朝から夜まで楽しめるスポーツライフを応援します。

リバーサイド・エリア

逢妻川緑地に活動拠点を配置し、水辺空間をいかしたレクリエーション活動が楽しめるエリアです。

【イメージ】 リバーサイドステーション（活動拠点+カフェ）/ライドアクティビティ/サイクリング/ウォーキング/BBQ など

エントランス・エリア

公園のエントランスに、気軽に立ち寄れる飲食施設などを配置し、スポーツの魅力を発信するエリアです。

【イメージ】 エントランスガーデン/レストラン・カフェ（飲食施設）/売店（コンビニ+スポーツ用品） など

+ (プラス) スポーツ・エリア

要望の高いスポーツ施設に加えて、若者に人気の高いスポーツも取り入れた、幅広いスポーツを気軽に体験できるエリアです。

【イメージ】 ニュースポーツ/テニス/ソフトボール兼少年野球/センター施設（更衣室、スポーツ用品レンタル） など
※多目的グラウンド：ソフト・野球(少年)・テニスなど

アリーナ・スタジアム・エリア

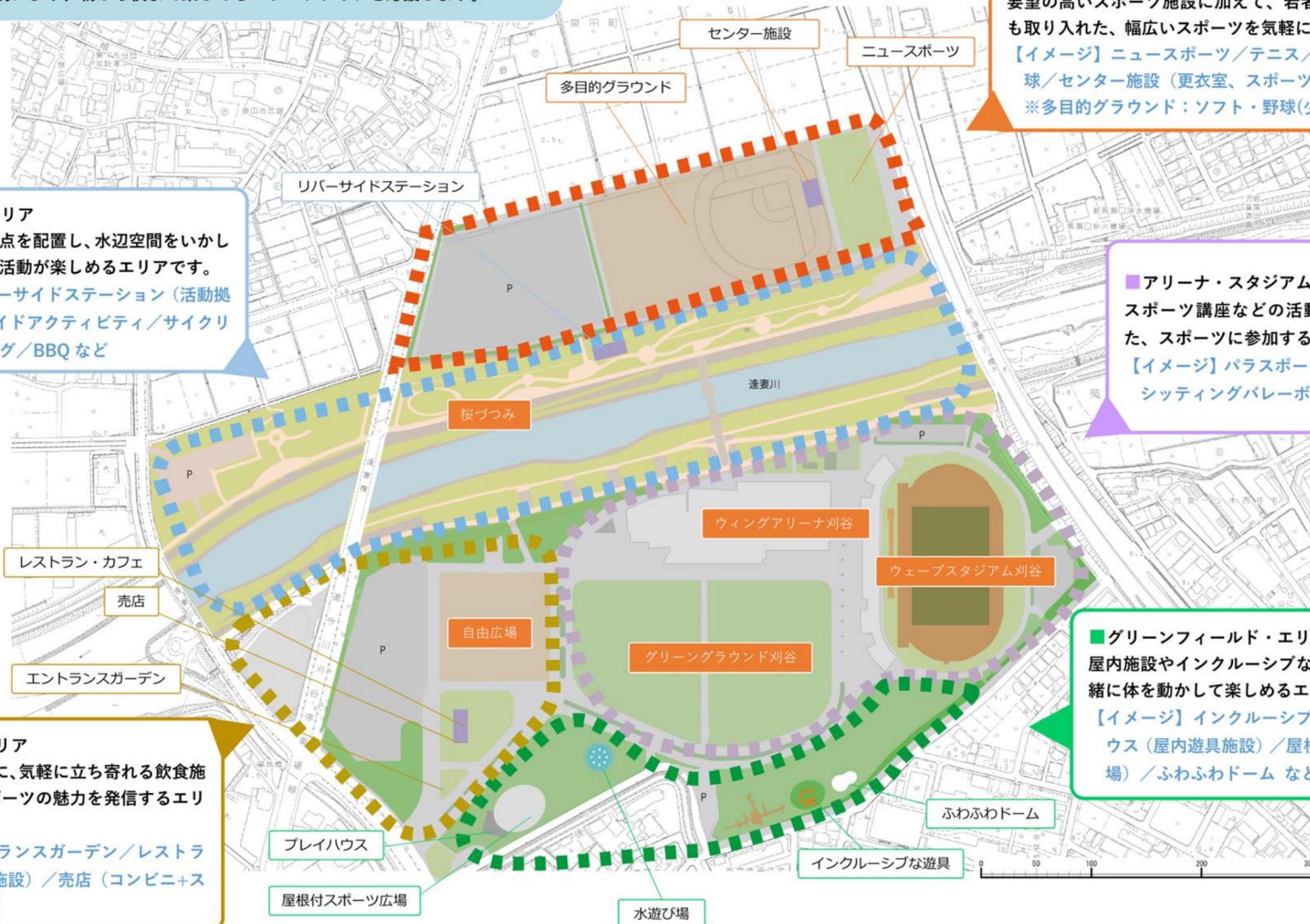
スポーツ講座などの活動プログラムを更に充実させた、スポーツに参加する機会が得られるエリアです。

【イメージ】 バラスポーツ（ポッチャ・ゴールボール・シッティングバレーボール）/e-スポーツ など

グリーンフィールド・エリア

屋内施設やインクルーシブな遊び場を配置し、だれでも一緒に体を動かして楽しめるエリアです。

【イメージ】 インクルーシブな遊具/水遊び場/プレイハウス（屋内遊具施設）/屋根付スポーツ広場（イベント広場）/ふわふわドーム など



4) 利活用イメージ

+ (プラス) スポーツ・エリア

要望の高いスポーツ施設に加えて、若者に人気の高いスポーツも取り入れた、幅広いスポーツを気軽に体験できるエリアです。



【利活用イメージ】

- 未来のアスリートを目指して、子どもたちがスケートボードやボルダリングなどのニュースポーツをしています。
- だれもが一緒にスポーツを楽しんでいます。
- 更衣室やシャワー室、スポーツ用品のレンタルなどを備えた施設があり、だれもが気軽に利用しています。



(イメージ)

リバーサイド・エリア

逢妻川緑地に活動拠点を配置し、水辺空間をいかしたレクリエーション活動が楽しめるエリアです。



【利活用イメージ】

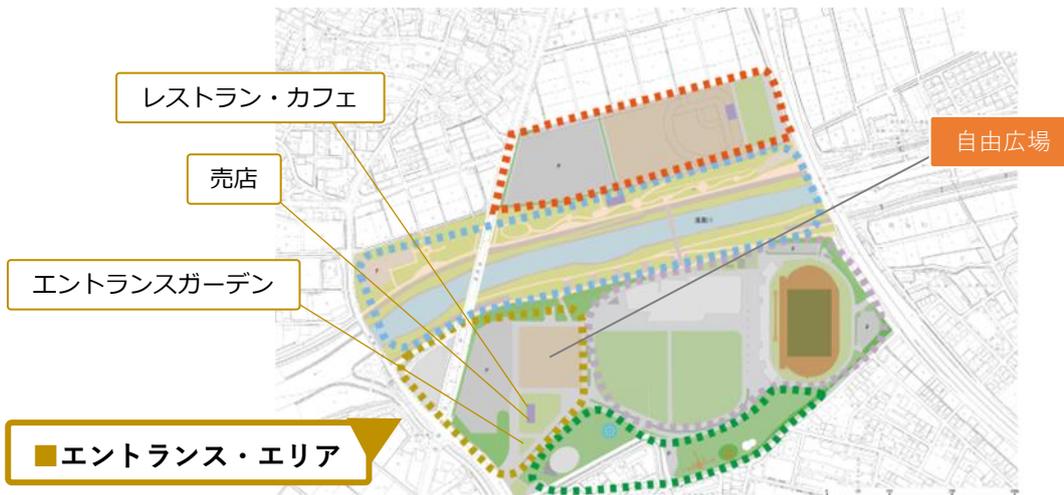
- 逢妻川を散歩する人、犬の散歩をする人、ジョギングする人がおり、リバーサイドステーションで豊かな眺めを楽しみながら休憩しています。
- 逢妻川では水遊び、河川敷ではサイクリングやライドアクティビティ（バギーなど）を楽しんでいます。
- だれもが一緒に BBQ で仲間と盛り上がっています。



(イメージ)

エントランス・エリア

公園のエントランスに、気軽に立ち寄れる飲食施設などを配置し、スポーツの魅力を発信するエリアです。



■ エントランス・エリア

【利活用イメージ】

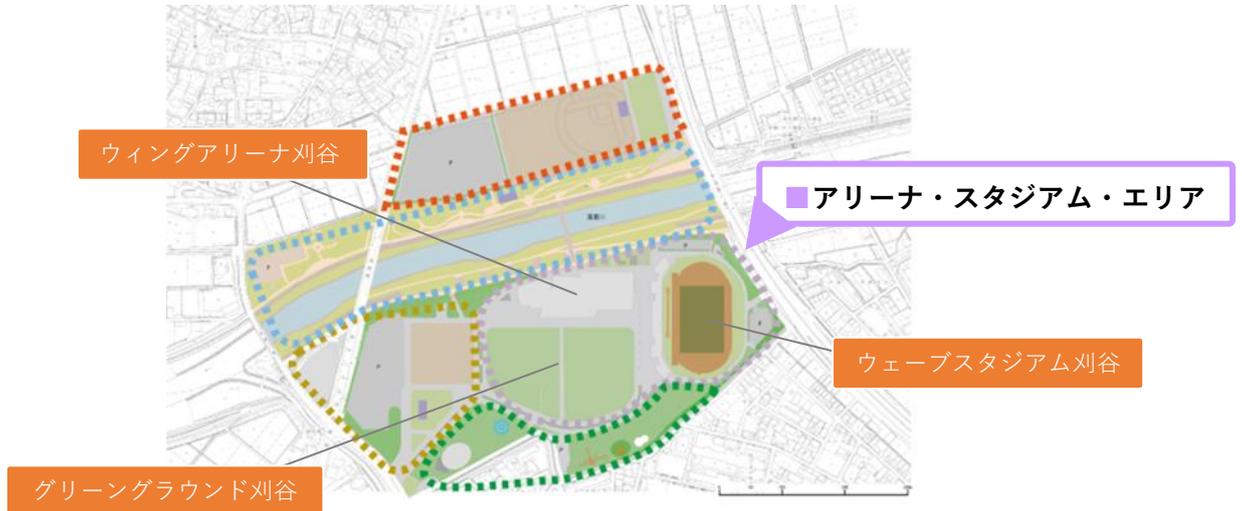
- 美しいエントランスガーデンがあり、四季の花が咲いています。
- 公園駐車場に隣接して、レストランやカフェがあり、いつでも気軽に立ち寄れます。ホームチームのグッズやスポーツ用品のレンタルなどもあり、いつでも賑わっています。
- 広場でイベントが開催され、多くの人で賑わっています。



(イメージ)

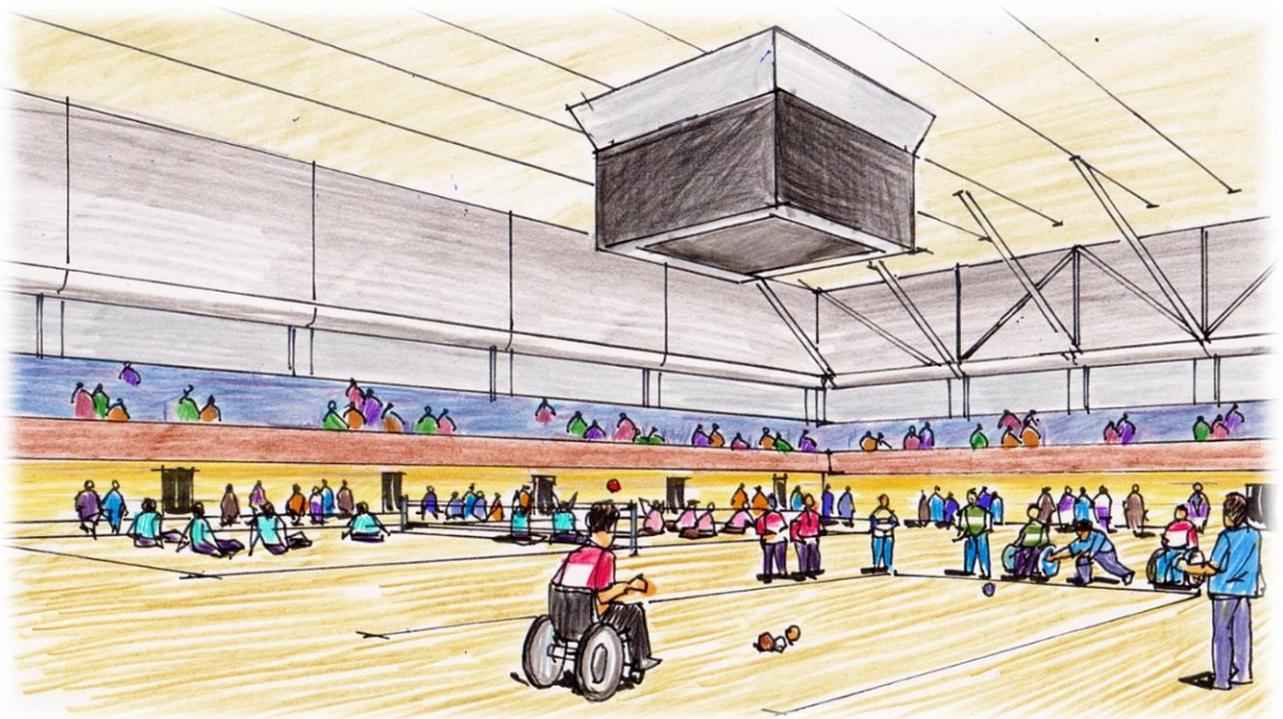
アリーナ・スタジアム・エリア

スポーツ講座などの活動プログラムを更に充実させた、スポーツに参加する機会が得られるエリアです。



【利活用イメージ】

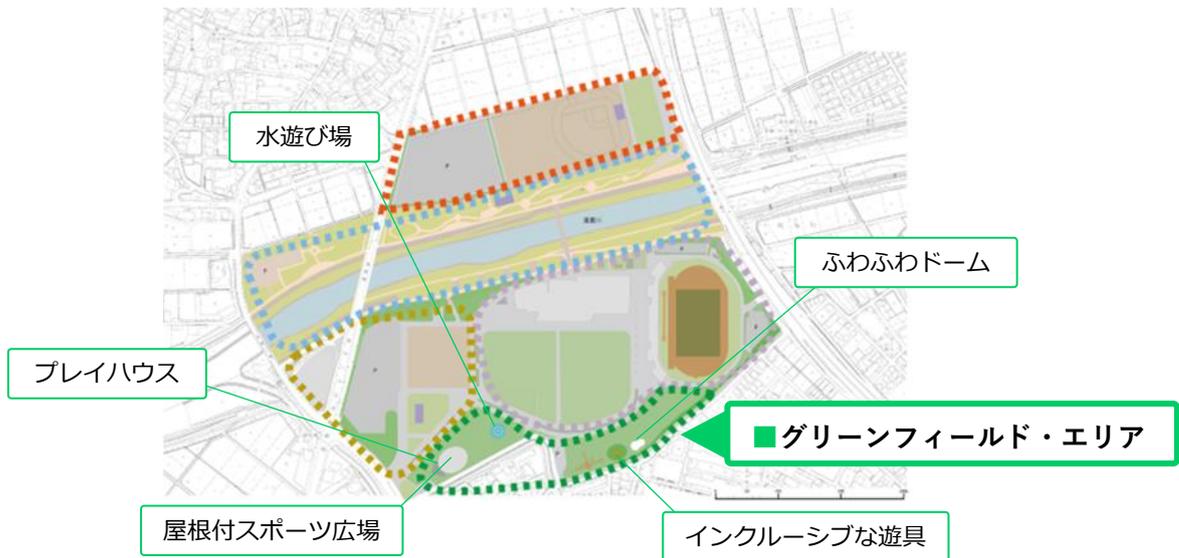
- だれもが一緒にスポーツを楽しんでいます。
- ホームタウンパートナーチームと市民が触れ合っています。
- 多世代に渡ってスポーツをしています。
- 国内トップクラスのスポーツを観戦しています。



(イメージ)

グリーンフィールド・エリア

屋内施設やインクルーシブな遊び場を配置し、だれでも一緒に体を動かして楽しめるエリアです。



【利活用イメージ】

- 車いすの子どもや運動が苦手な子どもも、だれもが一緒に元気に遊んでいます。
- 雨の日や、暑い日でも子どもたちが屋内施設で安心して遊んでいます。
- 駐車場などからアクセスがしやすくなり、だれもが快適に利用しています。
- 広場では、特色のある遊具やそれぞれの楽しみ方でのびのびと遊んでいます。



(イメージ)

5 亀城公園の概要と将来構想

1) 公園の特色

亀城公園は、刈谷城（亀城）址を利用した総合公園で、ソメイヨシノ（約400本）がたくさん植えられており、4月には桜まつりが開催され、多くの市民で賑わっています。

現在、刈谷城の姿はありませんが、堀跡の城池、子亀池が城址の面影を残しています。

園内には十朋亭があり、日本庭園とうまく調和しています。また、歴史博物館では、本市の歴史に親しみ、学ぶことができます。

運動施設としては、体育館、武道場、刈谷球場、そして河川敷を利用した運動広場があり、各種スポーツに利用され、スポーツの振興に大いに役立っています。

亀城公園（開設年度：昭和12年）



2) 公園の良いところ・惜しいところ

第2回市民公園づくり会議では、亀城公園の良いところ・惜しいところについて、グループで意見を出し合いました。



公園の良いところ

◆ 主な意見

- 自然
 - ・桜の名所
 - ・木々や池など自然が多い
 - ・野鳥がいる など
- 施設
 - ・歴史博物館・郷土資料館があり歴史を学ぶ施設がある
 - ・スポーツ施設が充実 など
- その他
 - ・シンボルとなる赤い橋があり景観が良い
 - ・草木の手入れがいきとどいている
 - ・駐車場が広く気軽に行ける など













公園の惜しいところ

◆ 主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ● 施設 <ul style="list-style-type: none"> ・遊具が古い ・池・噴水が活用されていない ・売店が充実されていない ・トイレが古い、暗くて怖い ・遊歩道が狭い ・外灯がない ・イベントが重なると駐車場が混み合う など ● その他 <ul style="list-style-type: none"> ・桜は有名だがそれ以外がない ・平日に人が少ない ・歴史を感じるものが少ない など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・桜の老朽化 ・ゴミがある、汚い など
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



桜の老朽化

歴史PR不足

3) 将来構想図

亀城公園 将来構想



公園の将来像

「刈谷の歴史を次世代に語りつなぐ」シンボル公園

公園の未来

- 1) 石垣・隅櫓・堀等を復元し、刈谷の歴史と文化をつなぐシンボルとなる公園に生まれ変わります。
- 2) 四季の花や公園機能の充実により、一年中だれもが楽しめる公園になります。
- 3) 地域・民間・行政の連携により、地域と密着した安心・安全な公園づくりが進められていきます。

■ 刈谷城址・エリア

刈谷城址としてふさわしい整備を行い、歴史と自然を感じながら一年中だれもが楽しめるエリアです。

【イメージ】石垣・隅櫓の復元／庭園／四季の花／公園周辺の歴史スポットサイン／飲食・物販施設／遊具／バリアフリー化 など

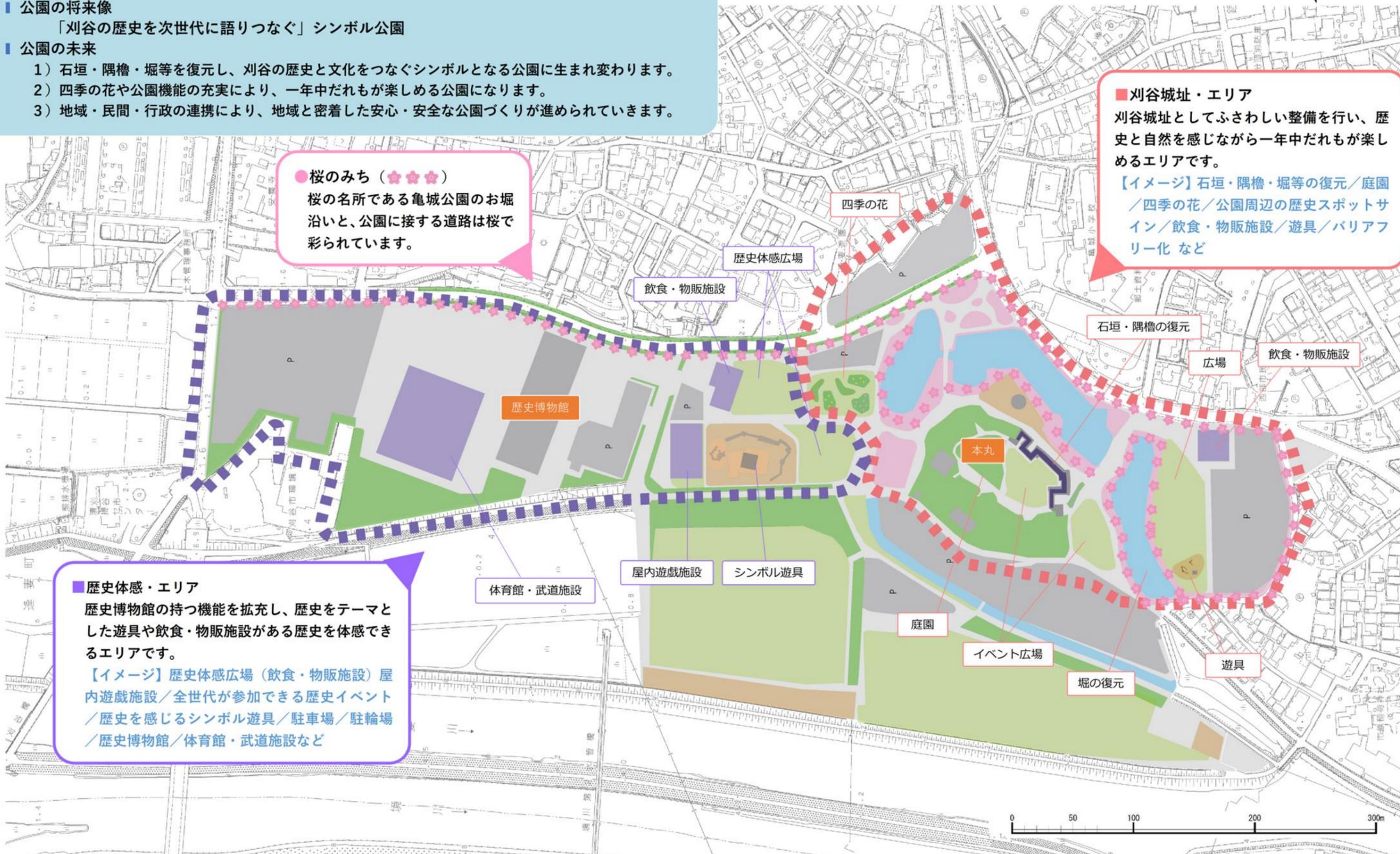
● 桜のみち (☆☆☆)

桜の名所である亀城公園のお堀沿いと、公園に接する道路は桜で彩られています。

■ 歴史体感・エリア

歴史博物館の持つ機能を拡充し、歴史をテーマとした遊具や飲食・物販施設がある歴史を体感できるエリアです。

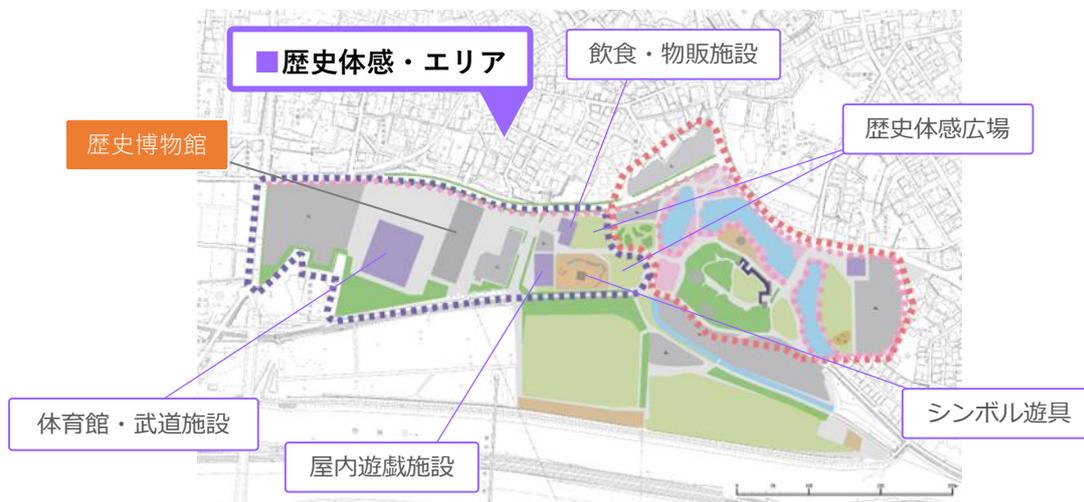
【イメージ】歴史体感広場（飲食・物販施設）屋内遊戯施設／全世代が参加できる歴史イベント／歴史を感じるシンボル遊具／駐車場／駐輪場／歴史博物館／体育館・武道施設など



4) 利活用イメージ

歴史体感・エリア

歴史博物館の持つ機能を拡充し、歴史をテーマとした遊具や飲食・物販施設がある歴史を体感できるエリアです。



【利活用イメージ】

- 歴史博物館では、刈谷の歴史や万燈祭などの文化について学んだり、体験しています。
- 飲食・物販施設では、ご当地グルメを家族でおいしそうに食べています。
- 歴史を感じさせる大型遊具や雨の日などでも遊べる屋内遊戯施設では、子どもも大人も一緒に遊び笑顔であふれています。
- 歴史体感広場では、地域・民間・行政が連携して、大小さまざまなイベントが年中開催され、多くの人で賑わっています。
- 体育館・武道施設では、スポーツや武道で汗を流しています。



(イメージ)

刈谷城址・エリア

刈谷城址としてふさわしい整備を行い、歴史と自然を感じながら一年中だれもが楽しめるエリアです。



【利活用イメージ】

- 石垣・隅櫓・堀の趣のある景色を眺めたり、十朋亭や野点(茶会)でくつろいでいます。
- 花や木々を見て四季を感じ、心を潤しています。
- 桜まつりや歴史をテーマとしたイベントが開催され、賑わっています。
- だれもが一緒に公園内を散策しています。
- ボランティア・ガイドの案内で、刈谷城や周辺の史跡を散策しています。



(イメージ)

桜のみち

桜の名所である亀城公園のお堀沿いと、公園に接する道路は桜で彩られています。



(イメージ)



亀城公園【愛知県刈谷市】

6 フローラルガーデンよさみの概要と将来構想

1) 公園の特色

フローラルガーデンよさみは、「花と緑」をテーマに市民参加、民間活力の導入、田園風景との調和を基本コンセプトとし、花と緑のまちづくりを推進しています。

温室やカフェ、緑化講座なども学べるフローラルプラザや通信施設などの産業遺産を展示した依佐美送信所記念館、その他にもミニSLや遊具広場などだれもが楽しめる魅力いっぱいの公園になっています。



フローラルガーデンよさみ（開設年度：平成19年）



2) 公園の良いところ・惜しいところ

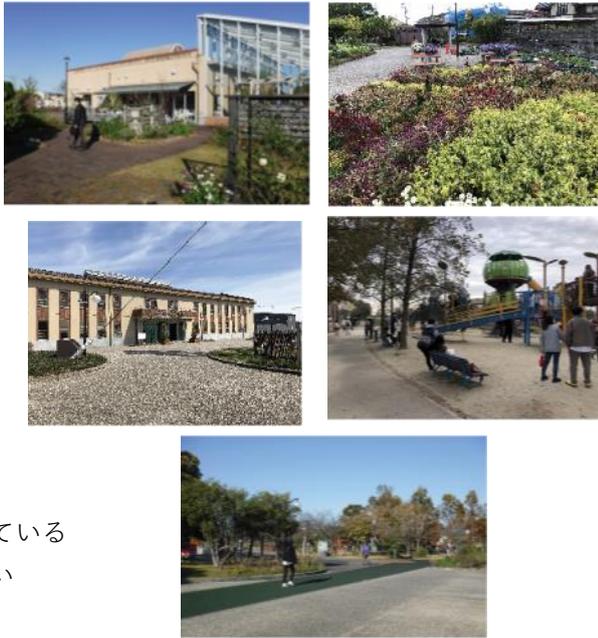
第2回市民公園づくり会議では、フローラルガーデンよさみの良いところ・惜しいところについて、グループで意見を出し合いました。



公園の良いところ

◆主な意見

- 自然
 - ・花と緑を楽しめる
 - ・カブト虫、トンボ、カエルに出会える など
- 施設
 - ・ミニSLがある
 - ・依佐美送信記念館がある
 - ・大型遊具が幅広い年齢層で楽しめる など
- その他
 - ・マルシェなどイベントが楽しい
 - ・ボランティア活動があり手入れができています
 - ・ジョギング、ウォーキングコースが良い
 - ・芝生広場で遊べる など





公園の惜しいところ

◆主な意見

- 施設
 - ・メインストリートがいかされていない
 - ・屋根のある場所がほしい
 - ・飲食施設を充実させてほしい
 - ・中高生の集まる場がない
 - ・プレパークがあると良い
 - ・森が欲しい など
- その他
 - ・利用者が多いので、もっと広いと良い
 - ・SLに乗っている時に景色や施設の説明がない
 - ・池はあるが生き物がない
 - ・遊具が離れていて見守りが大変 など

●依佐美送信所

- ・記念館のPRが足りない
- ・見るだけなのでつまらない
- ・歴史を感じない など



3) 将来構想図

フローラルガーデンよさみ 将来構想

公園の将来像

みんなでつくり運営する、刈谷のよ・さ・み・りよく送信所！
(良さ+魅力=よさみ力)

公園の未来

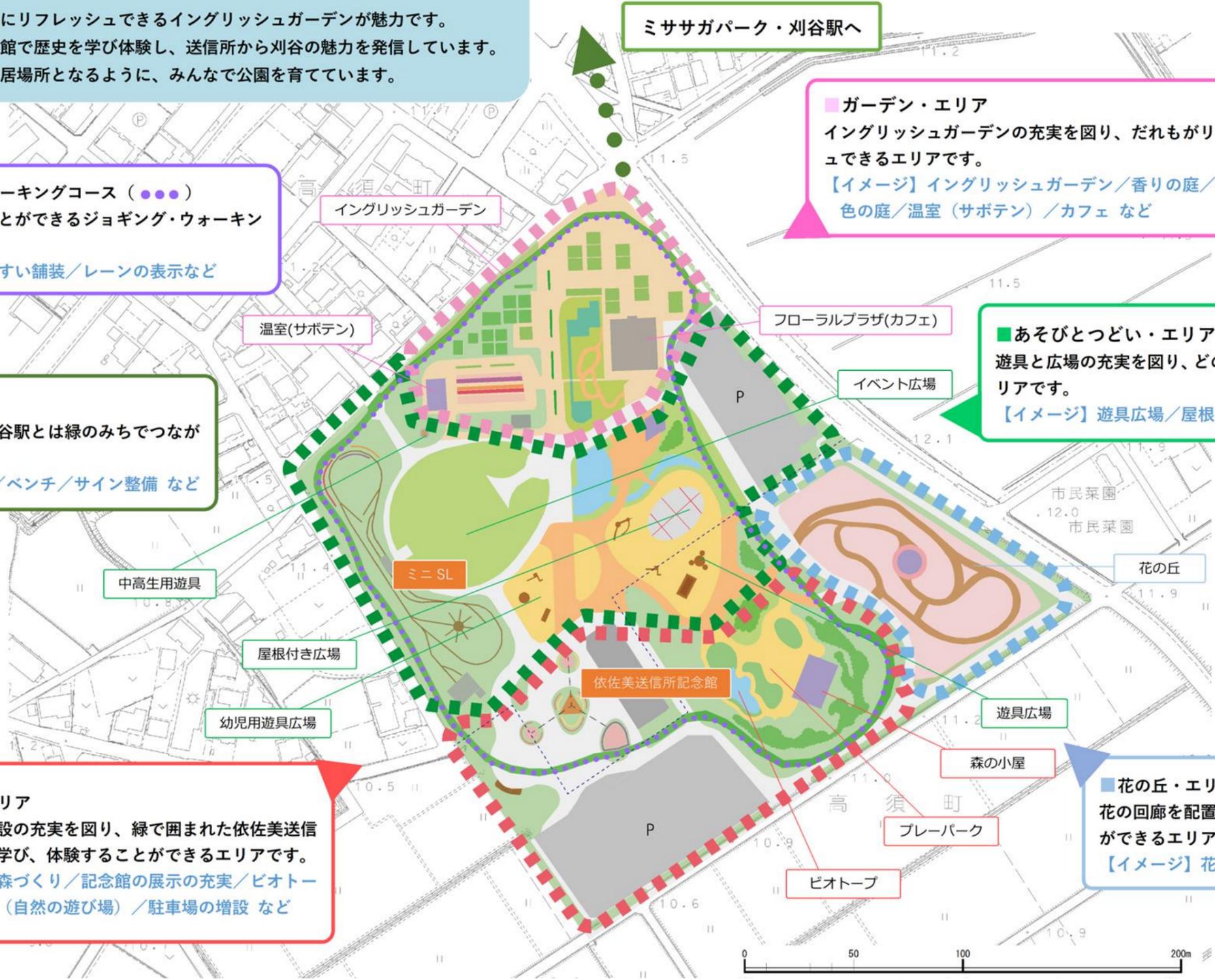
- 1) だれもが心身ともにリフレッシュできるイングリッシュガーデンが魅力です。
- 2) 依佐美送信所記念館で歴史を学び体験し、送信所から刈谷の魅力を発信しています。
- 3) 市民が安心できる居場所となるように、みんなで公園を育てています。



● ジョギング・ウォーキングコース (●●●●)
目的に応じて選ぶことができるジョギング・ウォーキングコースです。
【イメージ】歩きやすい舗装/レーンの表示など

● 緑のみち
ミササガパークと刈谷駅とは緑のみちでつながっています。
【イメージ】遊歩道/ベンチ/サイン整備 など

■ 依佐美送信所・エリア
自然の中で遊べる施設の充実を図り、緑で囲まれた依佐美送信所記念館は、歴史を学び、体験することができるエリアです。
【イメージ】高須の森づくり/記念館の展示の充実/ビオトープ/プレーパーク(自然の遊び場)/駐車場の増設 など



■ ガーデン・エリア
イングリッシュガーデンの充実を図り、だれもがリフレッシュできるエリアです。
【イメージ】イングリッシュガーデン/香りの庭/音の庭/色の庭/温室(サボテン)/カフェ など

■ あそびとつどい・エリア
遊具と広場の充実を図り、どの世代も安心して遊び集えるエリアです。
【イメージ】遊具広場/屋根付き広場/イベント広場 など

■ 花の丘・エリア
花の回廊を配置し、四季の花々を楽しむことができるエリアです。
【イメージ】花の回廊 など

4) 利活用イメージ

ガーデン・エリア

イングリッシュガーデンの充実を図り、だれもがリフレッシュできるエリアです。



【利活用イメージ】

- 広く充実したイングリッシュガーデンでは、バラやハーブなどの美しい花を見たり、花を背景に写真を撮っています。
- 香りの庭や音の庭、色の庭などの工夫を凝らしたガーデンがあり、だれもが楽しんでいます。
- ガーデンレストランやカフェでは、色とりどりの花や木々を見ながら豊かな時間を過ごしています。
- 花に関する勉強会や相談会が開催され、気に入った花を買っています。



(イメージ)

花の丘・エリア

花の回廊を配置し、四季の花々を楽しむことができるエリアです。



【利活用イメージ】

- 小高い丘では、四季の花を眺め、ゆったり過ごしています。
- 新たなフローラルガーデンよさみのシンボルエリアとなっています。
- 小高い丘から、公園内の美しい景色を見渡しています。



(イメージ)

あそびとつどい・エリア

遊具と広場の充実を図り、どの世代も安心して遊び集えるエリアです。



【利活用イメージ】

- 晴れた日も雨の日もさまざまな遊具で、子どもたちがみんな一緒に遊んでいます。
- テーブルに座って中高生が集まっておしゃべりしています。
- マルシェが開催され、多くの人を訪れています。
- コーヒーなどを飲みながら、広場でくつろいでいます。



(イメージ)

依佐美送信所・エリア

自然の中で遊べる施設の充実を図り、緑で囲まれた依佐美送信所記念館は、歴史を学び、体験することができるエリアです。



【利活用イメージ】

- 依佐美送信所記念館の展示を中心として、公園の各所で楽しみながら歴史を学び、体験することができます。
- 依佐美送信所記念館を囲む緑は、市民がつくり育てた緑であり、自然を体感できる創造的な遊び場として、だれもが一緒に楽しんでいます。



(イメージ)

ジョギング・ウォーキングコース

目的に応じて選ぶことができるジョギング・ウォーキングコースです。

【利活用イメージ】

- さまざまな年代の人が、ジョギングやウォーキングを楽しんでいます。
- コースの途中には、健康遊具でストレッチする人や、ベンチや四阿でゆっくり休む人がいます。

緑のみち

ミササガパークと刈谷駅とは緑のみちでつながっています。

【利活用イメージ】

- 健康づくりのために、ミササガパークとフローラルガーデンよさみを歩いて周遊する人がたくさんいます。
- 公園までは車を使わずに、歩いて楽しむ人が増えています。

魅力あふれる公園づくり構想

発行 令和5年3月
発行者 刈谷市／編集 都市政策部公園緑地課
〒448-8501 刈谷市東陽町1丁目1番地
TEL：0566-62-1023 FAX：0566-23-9331
